

広報

なかつえ



夏到来 / (川辺小プール開き)

〈人口と世帯〉

5月末現在
()内は前月比

人口 1,947人(-21)
男 961人(-9)
女 986人(-12)
世帯数 565戸(-1)

〈行事〉

〈6月〉	全国安全週間 (~7日)
27日 郡体(剣道・卓球・ バドミントン・バ レーボール)	河川愛護月間 (~31日)
28日 貿易記念日	7日 七夕
〈7月〉	小暑
1日 国民安全の日	11日 郡体(陸上・柔道)

82/
6月号
No.219

商品価値ある農業

品質の高い作物の生産

津江農協から出荷されている野菜等は、生しいたけ、夏秋きゅうりが代表的なものといえますが、これらの出荷便をかりて雑多な特産野菜等も販売されています。スイートコーン、ウメ、クリ、サンショウの実、ドウダンツツジの花房などがあり、それらの中でも花ミヨウガが最も多く、長期間出荷されています。

ミヨウガ

ミヨウガは栄養野菜としてではなく、香辛野菜として六月から十月までは花蕾（花ミヨウガ）を、十二月から五月まではミヨウガタケをというふうに、年間を通して利用されています。利用方法も、ミヨウガがもつ独特の香りと、そう快な味、そして薄紅色の色沢を十分に生かした料理により、花ミヨウガは一般家庭から業務用まで、ミヨウガタケは主に業務用として吸物、天ぷら、ソバの薬味、酢物、漬物としてひろく利用されています。フキ、ミツバ、セリ、ウド等と同じく香りの強い「野の味」「山の味」として年々人気が出ており、消費も徐々に伸びている野菜です。

味と香り

勝負

ミヨウガの栽培可能地域は非常に広く、半日陰であれば、それほど場所をえらばない作物ですが、紅がよくなり、舌ざわりはさわ

やか、歯切れがよく香りの高い花ミヨウガの生産はやはり適地をえらばなければなりません。

ミヨウガは高温性の作物ですが、摂氏三〇度以上の高温が続くと生育が劣り、根茎腐敗病、白絹病、日焼けなどの発生が多くなり、乾燥のはげしいところでは生育が極端に悪くなるし、滞水するところでは湿害を起します。また、日陰地でもよく育つものの、日照不足では花蕾の発生が少なくなります。となると、ミヨウ

ガの適地は日当たりがよく、夏でも三〇度を越す高温の日が少なく、夕立（雨）の多い地域で水はけのよい腐植に富んだ土壌の土地となり、津江はこうした条件を満し、花ミヨウガの栽培に最も適した地域といえます。さらに好条件であるのは、高い山の斜面に村落（栽培地）が点在していることです。よく植林された杉の山ハダをつたって流れる冷たい空気のため、昼夜の温度差が大きく、昼間太陽の光線を受けて作った養分が、夜の冷え込みによって失われることなく茎葉を伸ばし、花蕾に集積され、すば



らしい味と香りを作り出します。また、冷気はミヨウガの株間をまんべんなく冷やすので、株元に当る日光の量を敷草などで上手に調整しておくこと、大変美しい紅色の花ミヨウガが生産されます。

津江地域は

天然の適地

津江地域は天然の適地です。特に土地の選定に気を遣う必要はありません。午後は日陰になる東から南斜面の排水のよい土地が最適で紅がよくつきます。午後の日当たりが強く、乾燥するところでは舌ざわりが粗くて紅が少なく、青味の多い花ミヨウガとなります。品種は花蕾の大きいものであれば、夏ミヨウガ、秋ミヨウガとも価格の差はないようです。高冷地のため夏ミヨウガは遅くなり、秋

川は生活のオアシス

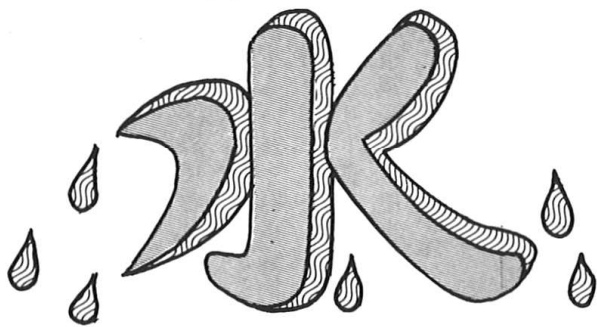
7月は河川愛護月間

わたしたちは遠い昔から河川の限りない恩恵を受けながら暮らしを立ててきました。

のどの渇きをいやし、魚を食べ、交通・運搬の手段に役立て、産業に利用し、いつの時代にも、わたしたちは河川と深いつながりを持って生活してきました。河川は、わたしたちが生きていく上で欠かせない貴重な自然環境の一つです。

しかし、一方で、河川をとりまく環境も、時代の流れとともに大きく変わってきています。たとえば、「川汚れて魚すまず」——こうして、わたしたち自身の生活をも汚すことにつながります。

七月は「河川愛護月間」です。生活のオアシスである河川、手足をひたし、野草をつみ、レクリエーションの場でも河川を汚さないように、わたしたちの手で守りぬきたいものです。



暑いと、どうしても冷たいものが欲しくなり、清涼飲料水など水分を多くとりがちです。

この水分が、くせ者なのです。取りすぎると体は余分な水分を追い出そうとします。そのために不必要なエネルギーが使われます。また、そのとき、汗とともに塩分も出てしまいますので、余計に疲労感が出ます。

これを繰り返していると食欲が減退し、体力も衰えるという結果を招きます。下痢などを起こしやすくなるのは、こういうときです。といて、水分が不足すると、これまた体によくはないことは、いうまでもありません。眠りが浅くなり、翌日に疲れが残ることがあります。

のどがかわいたときは、なま水をガブ飲みしないで、レモンや塩を少し入れた水を飲むようにするとよいでしょう。

夏の健康

水を飲みすぎると

ミョウガは早くなって、平坦部の夏と秋の切れ目の出荷となるので、品質の良いものを作ることに心掛けてください。



簡単な栽培方法を

栽培方法は十二月から三月（津江地域は冬の凍結が厳しいので、春先の三月から四月始めが可）、畦間七十〜八十cmで深さ十五cmの溝をつくり、新根で頂芽を有する二十〜二十五cmの苗を

二列に、株間十五〜十七cm、深さ五〜七cmに植えつけ、敷草を十分にします。すでに植栽されているものの管理は、間引きと追肥、敷草の施用です。間引きは冬の間に一mおきに四十cm幅の地下茎を掘り取って通風と管理道をつくり、新芽の出揃ったときと本葉七〜八枚のとき間引きして、一平方米当りの茎数を七十〜八十本とします。追肥は本葉七〜八枚のとき（六月中

下旬）稲作用の肥料を十アルル当り四十、五十kg散布、敷草については、すき間の多くできる野草か落葉、杉の葉を小さく切ったものを使用し、ワラ、モミガラは使用しない。花ミョウガの収穫は、花蓄がよく肥大して四・五日後に黄色の花が出る程度のものがよく、花の咲いたものや、黄色の花びらが出始めたものは商品価値はありません。くわしいことにつ

いては、農協で問い合せてください。出荷についても、農協で規格、品質の基準を設けてあるので、規格にあった荷作りをしてください。津江は、どこを歩いてもミョウガがあります。これを十分管理すれば、津江の特産として育ていくことは間違いのないと思います。質の向上、これからの農業の最大の課題といえるでしょう。

川開き釣り大会 腕じまんがせいぞろい!

六月六日、栃原グラウンドで第十一回津江川開き釣り大会がおこなわれました。

午前六時からの受付けに、約六十人ほどの釣り名人が、村内を含め、佐賀、浮羽、筑後、日田市などから参加、下笠ダムより上流の津江川で、思い思いの場所を選び釣り糸を垂れていました。

連日の晴天で、釣りにとっては悪コンディションではありましたが、午後一時の計量には参加者が次々と計量器にかけより、自分の釣った魚を覗きこんでは、ため息や歓声をあげ、賑わいをみせました。中には最近では珍しいドンコや、寒い時期に釣れるワカサギを釣っている人もいましたが、さすがにワカサギの釣れたことには全員が驚いていたようです。

今回で十一回になり、ややマンネリ気味の声もありましたが、釣り好きの方にはあまり関係ないようで、毎年参加している方も少なくないようです。今後、さらにこの大会を盛り上げるために、内容を検討するとともに、次回からのみなさんの参加をお待ちしています。

なお、各賞の入賞者は次の方々です。（敬称略）

- ▼量目賞（一般・コイ、フナ）の部）：①長谷俊介（中津江村）②水野英男（同）③鷹野喜千代（同）
- ▼量目賞（一般・その他の部））：①梶原忠行（日田市）②坂井義伸（筑後市）③石川賢治（日田市）
- ▼量目賞（中学生の部））：①嶋崎正士（中津江村）②鷹野健（同）③池辺洋行（同）

- ▼量目賞（小学生の部））：①梶原成也（日田市）②小江恭充（中津江村）
- ▼団体賞：一風会（日田市）
- ▼大物賞：長谷俊介（中津江村）
- ▼一品賞：藤山哲郎（日田市）
- ▼粒ぞろい賞：石川賢治（日田市）
- ▼ファミリー賞：梶原忠行・成也親子（日田市）鷹野喜千代・健親子（中津江村）

なお、各賞の賞品は、西日本新聞社、安元釣具店、トング釣具店、松尾釣具店のご協力によるものです。



のぞきこむ目は

真剣そのもの

交通安全の作文を募集

交通安全家族会議についての作文を募集しています。これは「交通安全は家庭から」という考え方を広めるためにおこなわれているもので、小学生以上の方ならどなたでも応募できます。

応募要領は次のとおりです。

テーマ：「我が家の交通安全」、家庭で話し合った内容、方法およびその実行について。

応募区分：①小学生一、二年生の部 ②同三、四年生の部 ③同五、六年生の部 ④中学生の部 ⑤母親の部 ⑥一般の部

原稿枚数：①小・中学生の部 四百字詰め原稿用紙三枚以内 ②母親・一般の部 四百字詰め原稿用紙五枚以内

応募期間：昭和五十七年七月一日～九月二十日

送り先：①小・中学生の部 日本交通福祉協会（〒一〇一 東京都千代田区外神田二―二―一七 共同ビル内） 母親・一般の部 総理府交通安全対策室（〒一〇〇 東京都千代田区永田町一―六一―一）

優秀作品は、表彰され作品集として配布します。

優良運転者表彰の受付

安全協会中津江支部では、今年度の優良運転者の日田地区表彰（十五年表彰）の上申を受付けています。該当する方は上申書を支部に提出してください。

表彰される条件等 ①現に車を運転しており、その運転期間が十五年以上あること ②過去十五年以内に交通事故の当事者になっていないこと ③過去十年以内に交通法令違反で処罰されていないこと ④安全運転表彰六年、又は九年を受けてい



給食費が値上げ

喜ばれる 学校給食を めざして

四月に入學した一年生も、重い食かんを緊張した顔で、はこびながら、とてもうれしそうです。さて、先にご父兄のみな

様には、PTA総会でご了承願いましたように、給食費が値上げされることになりました。

その理由として副食物の値上がりが10%程度見込まれること、それとともに村よりの補助が三年計画でなくなるにより、昨年の給食費では運営が困難となり、給食運営委員会において十分検討のうえ、給食費の値上げを決定したものです。

戦後にはじまつた学校給食は、当初量を確保する形で給食の実施がなされてきましたが、最近では家庭における食生活も大きく改善され、子どもの嗜好も大きく変わってきました。そのため、学校給食も量の確保よりもおいしい魅力ある給食へと、内容と質を高めるよう献立をつくることに努力しています。このように、学校給食に變化をもたせ「喜ばれる給食」実現のため、ご家庭の負

担も大きいと思われますが、ご了承をお願いいたします。

今年度の給食費は小学校三千百円、中学校三千六百円ですが、村よりの補助として小学校百円、中学校百四十円補助されますので、ご父兄の負担は小学校三千円、中学校三千四百六十円になります。

このほか、四月から十一月まで月四回ミカンジュースを飲用してありますが、こ

各市町村給食費状況 ○印はセンター方式

市町村名	小学校	中学校	回数	備考
中津江村	3,100 ^円 (3,000)	3,600 ^円 (3,460)	週6日	()は父兄負担額
上津江村	3,500	4,000	6	○
前津江村	2,800	3,300	5	○
大山町	2,900	3,500	5	○
天ヶ瀬町	2,700	3,000	5	○
日田市	2,850	3,300	5	○

の代金は県が三分の一、残りは全額村で補助してあります。また牛乳の補助もあり、少しでもご父兄の負担を軽減するよう努力してあります

ること(以上の条件を全部満していること)

上申方法: 上申書は次のところに備えてあります。支部長方(栃原の末久商店)・下切の高田事務局長方、くわしい書き方は、上申書と一緒に差しあげます。

受付期間: 七月七日まで。

◆調理師試験があります

昭和五十七年度の調理師試験を、次のとおり実施します。

日時: 八月五日 午前九時~十二時

場所: 大分県立大分上野丘高等学校

携行品: 筆記用具・上ばき

受付期間: 七月五日~七月十日

資格: 調理実務経験二年以上(証明書が必要)

くわしいことは役場住民課へおたずねください。

◆銃砲刀剣類の所持について

古式銃砲やたち、刀、わきざし、短刀、やり、剣などは、都道府県教育委員会が発行した登録証のついているものでなければ所持できません。従って、土蔵などから新しい古式銃砲や刀剣類を発見したら最寄りの警察署に発見届をし、次に警察署から交付された発見届出済証、現物、印鑑をもって県教育委員会で登録をします。登録のための審査会は、毎月一回第二水曜日に県庁でおこなっています。(八月は日田教育事務所)

この審査会で登録をし、登録証が交付されて、初めて合法的に所持できることとなります。なお、登録手数料は四千五百円です。また、譲り受け、売買等の場合も県の教育委員会に、所有者変更届を出さなければなりません。

くわしくは、県教育庁文化課におたずね下さい。

もしも私が村長だったら、まず最初に大人の人がたくさん働けるような工場をつくりたいと思います。工場を作れば、よそに働きに行っていた人も、その工場です仕事をすれば良いからです。また、その人たちのための家やアパートも必要です。そうすれば、人口の少ない中津江村も人でいっぱいになると思います。もちろん大人だけでなく、子どもも増えれば、遊園地や公園も作りたいです。でも、そうなった時に心配なこともあります。それは、工場やアパートなどを作りすぎると、緑や川や、きれいな空気がなくなってしまうのではないかとということです。 私たちにとって、この三つは宝です。いろいろなことも発達させたいけれど、私たちの宝がなくな

ボクが



村長だったら！

中学校陸上競技大会

5月20日、大山中学校グラウンドで、第30回日田郡中学校陸上競技大会がおこなわれました。

津江中学校の成績は総合3位、敢斗順位2位、6位までの入賞が34種目と健闘、さらに来年へ向けてがんばってもらいたいものです。

3位までの入賞者は次のとおりです。

▲1位……大内康典（2男100m）・川良るみ（3女100m）・山口孝生（3男800m）・永瀬久美（3女800m、大会新）・全男800mリレー・大矢野修二（走幅跳び、大会新）・小倉庄八（走高跳び）

▲2位……大矢野修二（3男10

0m）・大内康典（2男1,500m）・岩釣早苗（走幅跳び）・猪野美和（砲丸投げ）

▲3位……松本美貴（1女1,500m）・川村孝治（400m）・山口幸生（3男1,500m）・低男400mリレー

花火は楽しく安全に

花火は、大人にも子どもにも幅広く親しまれ、夏の夜ならではの風物詩として家庭の庭さきで手軽に楽しめる遊びです。

しかし、安易な取扱い方をすると火災ややけどの原因となることもよくあります。

安全に楽しく花火遊びをするために、次の点に十分注意をしましょう。

※安全な場所を選ぶ

- ※気象条件を考慮する
- ※子どもだけで遊ばせない。
- ※注意書きは、かならず読む
- ※火薬をほぐしたり、数本まとめて点火しない
- ※かならず水の入ったバケツを用意する。

第61回珠算検定合格者

6月6日、第61回珠算検定がおこなわれ、次の12名が合格しました。

- 8級…渡辺千賀子・松野忠・安岡佐織・岩下征吾・岡本裕二高本圭・山田孝江
- 7級…中元修・大内貴洋子・高原昭彦・川上和孝
- 6級…梶原紀子

（次回の検定日は、11月14日の予定です。）

保健婦メモ

食用油を煮る

油には動物脂（牛脂、豚脂、羊脂、バターなど）と植物油（大豆油、コーン油、ゴマ油、マーガリンなど）があります。近年、バターよりマーガリンの消費が伸びているのは、動脈硬化予防のリノール酸を多く含むからです。

コレステロールの多い動物性脂肪のとりすぎは動脈硬化を促進し、虚血性心疾患や血栓症の誘因になるといわれます。一方植物油は、血液中のコレステロールを低下させたり胆石を予防します。また、血圧の低下にも関係があります。

食用油は大切なエネルギー源です。動物脂と植物油の比率を対一、または一対二程度にすることが望ましいとされ、そして植物油は一種ではなく、二種以上のもの（サラダ油、プラスチック油など）を使用するのがよいといわれています。ただし、とり過ぎにも注意を。



合谷 公児ちゃん (S54年9月12日生)
(栃原・合谷 信義さんの長男)

性格、気短かし、これは親ゆずりとお母さん。やっぱり水遊びが大好きという。

こちらの希望のポーズにあわせてくれたコウちゃん。スターの可能性を秘めた金の卵。

おもちゃを貸してくれたり、石を拾ってくれたり、大変気をつけていただきました志津香ちゃん。

こちらは土遊びの好きな女の子、スコップを持って農作業に親しむという。おかげで虫さされ多し。

富永志津香ちゃん (S55年10月15日生)
(川辺・富永 陽介さんの長女)



鯛生小6年生
野崎さち子さん

ってしまうのは、たいへん残念なことです。
もしも私が村長だったら、こんなことを考えながら、りっぱな中津江村にしてみたいと思います。

イ

夕

ズ

ラ

ぎ

か

り

人が生まれてから習得するもののなかで、最も貴重で、かつ個人差が大きいものは言葉であると思います。

おとなは毎日、たくさんの人と会い、他人との交渉のほとんどは言葉をとおしてなされます。自分の考えていることや感じていることを正確に、かつ美しく相手に伝達できるかできないかは、その人の人生の質を決定すると言ってもよいと思います。井戸端会議式の雑談ができない人はまずいませんが、それとは別に一定の内容のあることをきちんと筋道を立てて話すこともできなくてはなりません。そしてこの能力は子どもどものときの言語的環境によって左右されるところが大きいのです。

父親が怒鳴ったり、しかったりばかりしている家庭では、家族の間になごやかな会話が進展しません。指示や命令が与えられるだけでは、言葉は豊かになりません。言っではいけないことの区別、物を頼むときや断るときの言い方、断定的に言うべきこと、推測の言葉など、親が子どもに教えることはたくさんあります。話し方が全体に上品か下品かということも、幼児期の言語的環境によってつくられる特徴です。一人の子どもが成長後、どんな話し方をする人になるかは、その親がどんなことをどのように話していたかによって、大きく影響されるのです。

父と子

